



中日本航空専門学校が卒業研究発表会

ドローン開発工程紹介

中日本航空専門学校（関市迫間）航空整備科航空電子コースの卒業研究発表会が、同校で開かれ、3年生約30人が8グループに分かれてロボットやドローンを使った研究の成果を紹介した。

製作したドローンを前に研究成果を発表した生徒たち。関市迫間、中日本航空専門学校

卒業研究は、3～5人でつくる各グループがそれぞれテーマを決め、4月から取り組んできた。今年、コーヒーマーカーを操作するロボットのソフトウェアプログラム作成やスマートフォンによるシニアカーの遠隔操作などをテーマに取り上げた。

通常のドローンよりも長距離の高速移動が可能な電

（郡上市）と共同開発した試作機のデザインや翼の製作工程を説明。実際に試験飛行の動画も織り交ぜながら、「来年3月の卒業までに安定性を高めたい」などと話していた。（河合修）